

北は小坂町、南は湯沢市まで秋田県の元気な集落の情報満載!!

元気ムラ通信 13号

あきた元気ムラ
応援サイトは

元気ムラ で検索

- Twitterアカウント→@akitagenkimura
- facebook→「あきた元気ムラ」



元気ムラサイトを
携帯電話・スマート
フォンで見たい方は
←こちらから!

元気ムラ通信は秋田県活力ある集落づくり支援室が運営する「秋田県のがんばる農山漁村集落応援サイト(通称:元気ムラ応援サイト)」で紹介している地域活動を、より多くの皆様に参考にしていただくために発行しております。 ●発行日:平成28年11月1日

2016年の
テーマは

咲かせよう! 元気とやる気の創造花火!



↑今年新たに企画した第3部「お宝アピール」の様子。

参加人数
402名

秋田県内から59の
地域団体の皆さんが
集まりました!

あきた元気ムラ大交流会2016を 大仙市で開催しました。

「集落に寄り添う支援」が
集落支援員の活動の基本。
座談会や聞き取りから
活動の可能性を探ります

あきた元気ムラ大交流会レポート その1

9月3日(土)、大仙市の「仙北ふれあい文化センター」で「あきた元気ムラ大交流会2016」を開催しました。今年の大交流会は3部構成。第1部は地域づくりに取り組む団体の事例発表。第2部は「地域のお宝を囲んでの交流会」。県内24の団体が準備した料理を試食しながら交流しました。また、新たに企画した第3部「お宝アピールと語らいの場」は、参加者が車座になって、自分たちの地域の料理などをアピールしながら意見交換を行い、最後は大仙市の団体によるアトラクションで締めくくりました。



【第1部】大仙市の12の集落で活動する4人の集落支援員による「外部人材活用による地域活性化」と題した事例発表。



大仙市で活動するJingujiキャンで〜ず(左)と半道寺おもてなし一座(右)

「仙道てんぼ」は
廃止したJA購買部の建物を
借り受け、地域住民が運営を
行う食料品店



【第1部】羽後町仙道地域のお互いさまスーパー「仙道てんぼ」の事例発表。住民の交流の拠点づくりについて話す土田房美さん。

トピック
1

元気ムラ大交流会レポート その2



地元、大仙市半道寺地域のテーブルの様子。
枝豆入り寒天が人気♪



手作りの
ミニ草履の
展示品も♪



参加した各団体が
個性ある花火のように
輝き合いました♪

第2部の参加者は各テーブルを回り、出展した地域の方と会話しながらメモを取るなどして、真剣に耳を傾けていました。



元気ムラ応援団に登録している
企業・団体の展示ブース。



集落オリジナル
の法被♪



地域のお宝(特産品)を、どのように
PRするかも腕の見せどころ♪



第3部「お宝アピール」は各団体5分の発表でしたが、皆さん、まだまだ話し足りない様子(^^)



会場の外では
大仙市余目そばの
販売♪



大仙市らしい大会テーマでした♪皆さん、来年の大交流会にもぜひお越し下さいね。

トピック
2

地域おこし協力隊・
集落支援員交流会
を開催しました。



8月25日(木)、秋田県内で活動する「地域おこし協力隊」と「集落支援員」の交流会を仙北市・田沢地域で開催しました。県内で活動する隊員たちのネットワークづくりの場として開催しています。

トピック
3

地域おこし協力隊
合同募集説明会を
東京で開催しました。



9月25日(日)、東京都中央区の移住・交流情報ガーデンで、秋田県内で地域おこし協力隊を募集している市町村が集まり、一般の方を対象に「合同募集説明会」を開催しました。

隊員を募集している北秋田市・小坂町・上小阿仁村・大湯村が参加者に募集要項の説明を行いました。

トピック
4

(しゃかない)
大館市釈迦内が
新たに元気ムラの
仲間になりました!



平成28年度の元気ムラ応援サイト登録地区に、新たに釈迦内地域が決定しました! ひまわりをテーマに子供から大人まで交えた活発な活動を展開しています。

「学生」と「地域」の協働が行われました♪

●レポート1…五城目町・馬場目杉沢地域

第一学院高等学校がやってきた！

高校生が住民と一緒に農作業やお祭り等の活動に取り組む事業「高校生と地域で創造する“元気ムラ”」として、元気ムラ応援団の「第一学院高等学校・秋田キャンパス(秋田市広面)」と五城目町・馬場目杉沢地域との協働活動がスタートしました。この事業は年間を通して行うのが特徴で、地域活動を共に行うことで「人と人との繋がり大切さ」を生徒に学んでもらうと同時に地域の活性化を図ることを目的に行っています。

生徒たちは7/25(月)、9/12(月)、10/5(水)の計3回、地域を訪れ、古民家の盆城庵、農家レストラン等の清掃活動や農園の収穫作業を行いました。今後も交流を継続していきます。

地域団体・清流の会メンバーとの顔合わせ。住民と生徒がお互いに先生となって活動します♪



地域でどんな活動ができるかを考えるワークショップでは、生徒から活発な意見が飛び出しました。今後の展開が楽しみです♪

●レポート2…仙北市・白岩地域

伝統の大名行列に大学生が助っ人に！

8月15日(月)、仙北市白岩地域で「大名行列」が行われました。400年前から伝わる白岩の伝統行事でしたが、参加者が集まらない等の理由で平成10年を最後に途絶えていました。

この大名行列を18年ぶりに復活させようと、住民有志が実行委員会を立ち上げ、準備を進めてきました。その中で、大名行列の先頭を担う「百姓軍団」に、秋田大学と国際教養大学のサークルの学生が参加し、大名行列を盛りあげてくれました。学生たちは住民から大名行列の所作を学んで練習し、勇ましい百姓軍団の一員として、お盆の白岩地域を練り歩きました。

地元の児童生徒と一緒に「ジョイワサーサー」と掛け声を響き渡らせます



多くの住民が見守る中、棒術を披露した秋田大学と国際教養大学の学生たち。

編集後記

あきた元気ムラ大交流会の大仙市集落支援員の皆さんの事例発表の中で、「(集落の人と)いろいろ話してればあちこちにヒントがあって、人が集まって笑顔になれば、9割方、私たちの仕事は成功だと思っています」という言葉が印象に残っています。「地域で何かやろう!」と思っても「何をやればいいのか分からない」という方も多いかもかもしれません。そういう時は、地域内で住民の皆さんとの「会話」を楽しんだり、活発な活発な地域を訪れたりして、「人と会う」ことで、何かきっかけを見つけることができるかもしれませんよ♪

関連リンク→ [秋田県大仙市 大自然ふるさとの魅力再発見 \(集落支援員のブログ\)](http://www.city.daisen.akita.jp/daisen/shuraku/)

11月の元気ムラ イベント情報

あなたの「そば」で祭りだ! ワッショイ!

能代市 鶴形地域 鶴形パート13

●日時/11月6日(日)9:30~14:30 ●
会場/鶴形小学校(能代市宇町後16)
●内容/今年で13年目の「そば祭り」では鶴形そばを200円で販売。そば打ち体験や産直も♪ ●/お問合せ/鶴形公民館(電話0185-58-3211)

大仙市 余目地域 余目収穫祭・味覚交流会

●日時/11月6日(日)11:00~14:00 ●
会場/余目直売所(大仙市内小友余目 ※国道105号沿い) ●内容/余目の新蕎麦を300円で販売。餅つき実演試食会も♪ ●/お問合せ/余目いきいき会議協議会・三浦(携帯090-4040-8934)

北秋田地域 げんき集落交流会

●日時/11月13日(日) 13:00~16:00
●会場:大館市 比内公民館

【第1部 事例発表】

- 前野自治会(北秋田市)
- 山王台町内会(大館市)

【第2部 伝統芸能鑑賞】

- 大林獅子踊り保存会(上小阿仁村)

【第3部 交流会】

●お問合せ/北秋田地域振興局 (電話 0186-62-1251)

五城目町 馬場目杉沢地域 今年もやるぞ。盆城庵秋まつり (先着40名様限定)

●日時/11月13日(日)10:00~ ●会場/盆城庵(五城目町馬場目宇蛇喰27)
●内容/古民家を会場に秋祭り。名所ネコバリ岩までの送迎も♪ ●会費/お一人様2000円、中学生以下1000円
●お問合せ・ご予約/農家レストラン清流の森(電話018-853-2577)

第4回 地域の元気 お届けマーケット



●日時/11月26日(土)13:00~18:00 11月27日(日)9:30~15:30
●会場/秋田駅西口ほほろーど
県内の元気ムラ地域の皆さんが地域の特産品を販売します! 秋田駅周辺にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください! ●お問合せ/元気ムラ支援室(電話018-860-1215)

声

元気な地域の
想いを発信！

地域からのメッセージ Vol.12



※2016年10月12日にインタビューした内容を掲載しました。

男鹿市北浦

あんぜんじ

安全寺地域 安田孝彦さん

「美田オーナーやってから、ご高齢の方の元気が出たなあ」。朗らかな笑顔を見せながら話してくれたのは、安全寺里山保全会の会長を務める安田孝彦さん。

安田さんが安全寺自治会の会長を務めていた頃に保全会を立ち上げ、3年間、自治会と保全会の会長を兼任していました。

安全寺地域には「安全寺小学校」がありましたが、現在は「安全寺公民館」として活用されています。小学校があった当時は、運動会や文化祭など、地域の方が集まる行事がたくさんありましたが、小学校が閉校してからは行事が少なくなり、長年続けていた盆踊りの継承も行われなくなってしまいました。

また、農業従事者の体力の限界などから耕作放棄地が増え、安全寺地域の田んぼの上部を通る「ナマハゲ大橋」から見える田んぼにも及びました。そんな中、安田さんは地域の老人クラブの会員が4人しかいないことを知ります。

地域のコミュニティ活動が停滞していることを知り「このままでは故郷が死んでしまう」と危機感を覚えたといいます。「地域活性化を目指しながら、耕作放棄地をなんとかしたい」。その思いから「農地・水保管理支払交付金」の活用に向けて動き出しました。

稲作をやめていく方々は何が原因でやめていくのかを聞いてみると草刈りや水路の泥上げなど、維持管理の部分にありました。その部分を地域全体の共同作業として行い、負担を補っていくことができれば、と考えました。

自分たちの農地を守ることは自然を守ること

現在、保全会の会員は126人にも上ります。地域の景観を守るために公民館の隣に作った花壇の草取りは老人クラブが行っています。花壇の活動を行うと交付金対象となるため、その交付金を貯めて、老人クラブの集まりの費用に充てています。この活動後、老人クラブの会員数が21人に増えました。

また、秋田県の農村整備課で行っている事業「里山の美田オーナー」にも応募し、平成26年度から活動を開始しました。年に2回、田植えと稲刈りを体験してもらい、地元のお母さんたちが作った料理を味わってもらう。地域外から訪れた人との交流で、住民が元気になり、新たに「安全寺こまち会」という地域に嫁いできたお母さんたちの会が出来るなど、安全寺地域で活動している会にも活気が出ました。

安田さんの目標は「少しでも農業寿命を延ばす」こと。保全会が立ち上がった当時から、農業従事者が8人減少したものの、放棄した田を保全会で管理したり、稲作をやめた方の隣の田を管理する方が管理をしたり、工夫をしているうちに耕作放棄地はほとんどなくなりました。この活動を長く続けるため、山菜や畑の作物などの足元にある資源を加工するなどして、少しでもお金になる活動ができれば、と話してくれました。

安田さんが描くのは、御山のふもと、青々とした田が広がる風景の中に住民が元気に暮らす声が響き合う姿なのでしょう。

元気ムラ支援室は「住民主体」の地域づくり活動を支援しています。

- 地域づくり活動事例の出前講座 ●GB(じっちゃん・ばっちゃん)ビジネスの支援
- 集落間交流のコーディネイト など。お気軽にご相談ください。

こんな活動を
しています♪

お問い合わせ

●発行／秋田県 活力ある集落づくり支援室(元気ムラ支援室)

●住所／〒010-8570 秋田県秋田市山王4丁目1-1

●電話／018-860-1215 ●FAX／018-860-3875 ●E-mail katsu@pref.akita.lg.jp